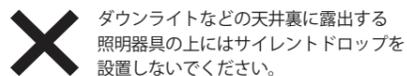


## 施工説明書

この度はフクビ製品「サイレントドロップ」をお買い上げ下さいましてありがとうございます。  
下記、施工説明書をご確認の上、正しく施工を行なってください。

### ■設計・施工上の注意点

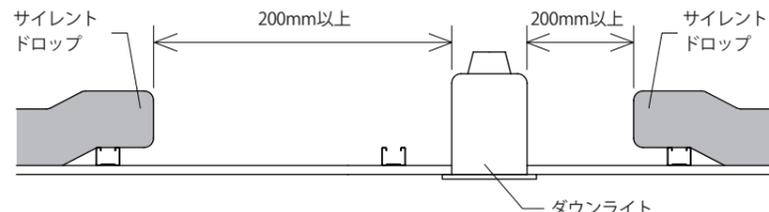
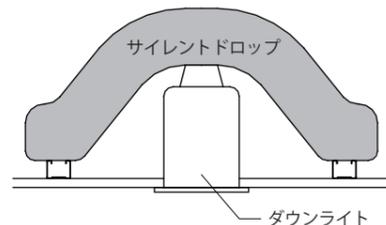
- 本製品は室内の天井に設置することを想定し設計されています。室内の天井以外の部位で使用することはおやめください。
- サイレントドロップが設置される天井下地及び天井板は、一般社団法人石膏ボード工業会が発刊する「石膏ボード施工マニュアル-木製下地・鋼製下地編-」で定められた設計・施工が行われているもの又は同等の強度・剛性があるものとしてください。
- サイレントドロップが設置される天井板は、JIS A 6901（せっこうボード製品）に適合する石膏ボード9.5mm以上としてください。
- 野縁のピッチは303mm（310mm以下）としてください。
- 床スラブ下端から野縁上端までの寸法は60mm以上としてください。（下記納まり図参照）
- ダウンライトなどの天井裏に露出する照明器具の上にはサイレントドロップを設置しないでください。  
ダウンライトなどの天井裏に露出する照明器具とは200mm以上離してサイレントドロップを設置してください。
- 勾配のある天井に設置するのはおやめください。（サイレントドロップが勾配に沿ってズレ落ちる可能性があります。）  
必ず、勾配の無い平天井で使用してください。



ダウンライトなどの天井裏に露出する照明器具の上にはサイレントドロップを設置しないでください。



ダウンライトなどの天井裏に露出する照明器具とは200mm以上離してサイレントドロップを配置してください。



### ■使用部材

#### ●サイレントドロップ



サイズ：450mm×450mm  
重量：4kg/個

#### ●テープ（副資材）

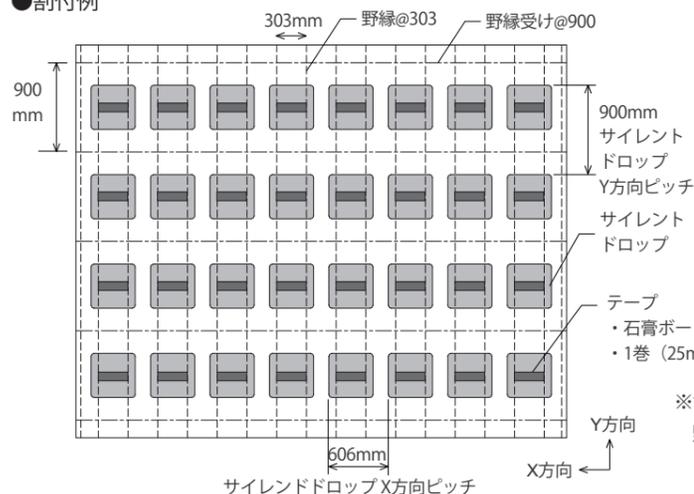
サイレントドロップ用ラインガード K-01（巾50mm）



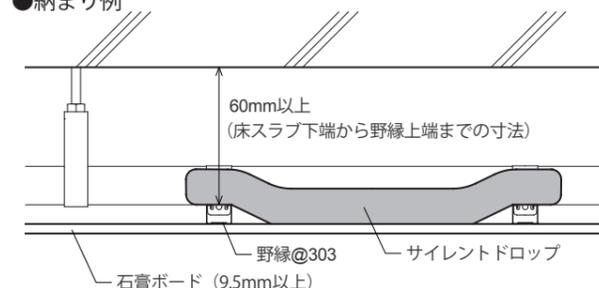
規格：巾50mm×長さ25m巻

### ■割付例・納まり例

#### ●割付例



#### ●納まり例

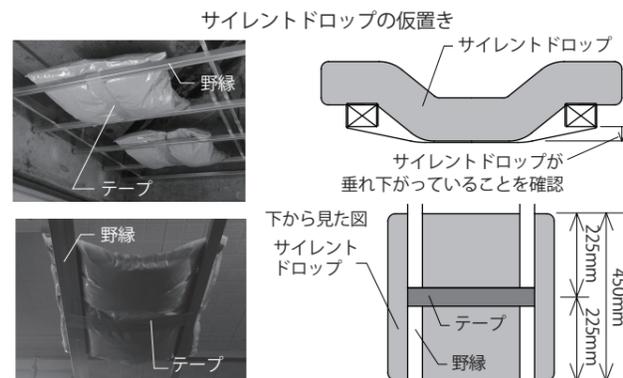
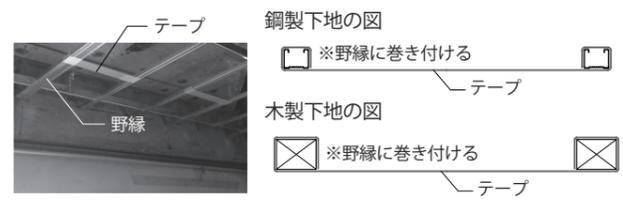


※サイレントドロップの配置ピッチは、野縁と直交方向（X方向）は606m、野縁と平行方向（Y方向）は900mmとして、1㎡当たり1.5~2個となるように配置してください。

## ■施工手順① テープ貼り施工の場合

### 手順1-1.テープ貼り

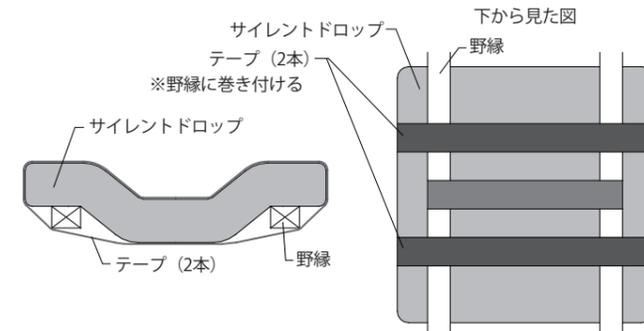
サイレントドロップが配置される場所にテープを貼ります。  
テープは粘着面を上にして、下図のように野縁に巻き付けます。



### 手順1-2.サイレントドロップの仮置き

- サイレントドロップを左下図のように野縁にまたぐ位置でテープ上に配置します。配置後、野縁の下端からサイレントドロップが垂れ下がっていることを確認してください。仮置き後、すぐに次の手順の石膏ボード張りの作業を行ってください。サイレントドロップの仮置きを放置するとテープが外れ、サイレントドロップが落下する可能性があります。
- サイレントドロップの位置がダウンライトなどの天井裏に露出する照明器具に近接する場合は、仮置き後、下図のようにテープ（2本）で、サイレントドロップを野縁に巻き付けて固定してください。

#### ダウンライトに近接する場合のテープ固定方法



### 手順1-3.石膏ボード貼り

- 石膏ボード（9.5mm以上）でサイレントドロップを押し上げて、石膏ボードと野縁をねじで固定してください。
- 木製下地の場合のねじは、石膏ボード厚より15mm以上長いものを用い、頭が平らになるまで十分に締め付けてください。
- 鋼製下地の場合のねじは、鋼製下地の裏側に10mm以上の余長が得られる長さのドリリングタッピングねじを用い、頭が石膏ボードの表面から少しへこむように確実に締めこんでください。
- ねじの留付間隔は周辺部150mm以下、一般部200mm以下としてください。

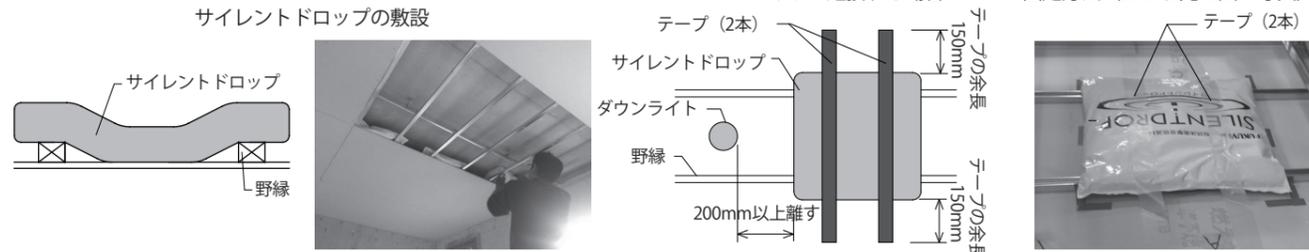
## ■施工手順② 石膏ボード先行施工の場合

### 手順2-1.石膏ボード貼り

- 次の手順でサイレントドロップが敷設できる石膏ボードの割付を考慮し、石膏ボードと野縁をねじで固定してください。
- 木製下地の場合のねじは、石膏ボード厚より15mm以上長いものを用い、頭が平らになるまで十分に締め付けてください。
- 鋼製下地の場合のねじは、鋼製下地の裏側に10mm以上の余長が得られる長さのドリリングタッピングねじを用い、頭が石膏ボードの表面から少しへこむように確実に締めこんでください。
- ねじの留付間隔は周辺部150mm以下、一般部200mm以下としてください。

### 手順2-2.サイレントドロップの敷設

- 石膏ボードを貼った後にサイレントドロップ下図のように野縁にまたぐように敷設し、この作業（石膏ボード貼り→サイレントドロップ敷設）を繰り返します。
- サイレントドロップの位置がダウンライトなどの天井裏に露出する照明器具に近接する場合は、下図のようにテープ（2本）でサイレントドロップと石膏ボードを固定してください。



### 手順2-3.貼り終いの施工

石膏ボードの貼り終いは、施工手順①テープ貼り施工の場合に記載されている手順で、テープ貼りサイレントドロップの仮置き、石膏ボード貼りを行ってください。



本社/福井市三十八社町33の66 ☎(0776) 38-8013 〒918-8585  
東京 ☎(03)5742-6301 大阪 ☎(06)6386-6950 名古屋 ☎(052)855-2332

札幌 ☎(011)896-7500 盛岡 ☎(019)654-7511 仙台 ☎(022)287-3471  
東関東 ☎(029)841-7611 宇都宮 ☎(028)636-3521 北関東 ☎(048)661-0400  
西東京 ☎(042)529-3911 神奈川 ☎(045)470-1050 新潟 ☎(025)241-7832  
北陸 ☎(0776)38-8010 静岡 ☎(054)288-3600 京都 ☎(075)662-2315  
岡山 ☎(086)232-0601 広島 ☎(082)246-7211 高松 ☎(087)822-2301  
福岡 ☎(092)471-5800 鹿児島 ☎(099)259-0220 沖縄 ☎090-1943-2112